

安全データシート

Ver. 20150527

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	タフペイント 蛍光黄		
製造会社名	株式会社カズキ高分子		
住所	島根県出雲市長浜町849-4		
担当部門	品質保証室		
電話番号	0853-28-2840	FAX番号	0853-28-0280
メールアドレス			
作成・改訂	2016年8月18日		

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性:
引火性液体 区分2

健康に対する有害性:
急性毒性(経口) 区分外
急性毒性(経皮) 区分外
急性毒性(吸入:気体) 分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気) 区分外
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) 分類できない
皮膚腐食性・刺激性 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2
呼吸器感作性:分類できない
皮膚感作性 区分1
生殖細胞変異原性 分類できない
発がん性 区分外
生殖毒性 区分1
特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分3
特定標的臓器毒性(反復暴露) 区分3
吸引性呼吸器有害性 区分2

環境に対する有害性:
水性環境有害性(急性) 区分1
水生環境有害性(慢性) 区分外
オゾン層への有害性 分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル:

注意喚起語:
危険

危険有害性情報:
引火性の高い液体及び蒸気 皮膚刺激 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き:

【安全対策】容器を密閉しておくこと。熱火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。静電気放電や火花による引火を防止すること。保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。取り扱い後はよく手を洗うこと。
【応急措置】火災の場合には適切な消火方法をとること。吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。衣類にかかった場合、直ちにすべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。
【保管】容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。
【廃棄】内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国・地域情報:

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

化学名	含有量%	METI No.	CAS No.	EINECS No.	安衛法	PRTR法
樹脂	35-40	N.R.	N.R.		非該当	非該当
パラフィン	45-50	2-8	68333-81-3		115	非該当
二酸化チタン	5-10	1-558	13463-67-7	236-675-5	192	非該当
二酸化ケイ素	1-5	1-548	7631-86-9		312	非該当
添加剤	<1	N.R.	N.R.			
p-tert-オクチルフェノール	<1	3-503	140-66-9		非該当	1-368
紫外線吸収剤	<1	N.R.	N.R.			
黄色染料	<1	N.R.	N.R.			非該当
水酸化アルミニウム	<1	1-17	21645-51-2		非該当	非該当
オレイン酸	<1	2-975	112-80-1	204-007-1	非該当	非該当
パラターシャリーブチルフェノール	<1	3-503	98-54-4		非該当	1-74
黄色顔料	<1	N.R.	N.R.		非該当	非該当

※

4. 応急措置

目に入った場合	清浄な流水で15分以上洗眼した後、痛みが残る場合は直ちに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、瞼を指で開いて、瞼、眼球の隅々まで水がよくいきわたるように洗う。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類・靴等を脱がせ、水又は微温湯で流しながら、石鹸を使って皮膚をよく洗い流す。痛み、炎症があれば医師の処置を受ける。
吸入した場合	本人を風通しのよい場所に移動させ、保温・安静に努める。必要ならば人工呼吸、酸素吸入を行う。医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	主溶剤が揮発性液体なので吐き出させると却って危険である。直ちに医師の診断を受ける。意識のない被災者には口から何も与えてはならない。

5. 火災時の処置

消火剤 二酸化炭素、泡、ドライケミカル

消火方法 初期火災の場合、粉末、炭酸ガスなどを用いる。
大規模火災の場合には、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。

周辺火災の場合、周囲の設備等に散水して冷却する。移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。消火作業の際には必ず保護具を着用する。火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

6. 漏出時の処置

- 人体 風下の人を避難させる。漏出した場所の周辺にはロープを張る等して人の立入りを禁止する。作業の際には、必ず保護具を着用し、蒸気の吸入や皮膚に触れることを防止する。
蒸気発生の多い場合は、噴霧注水で蒸気発生を抑制する。
- 環境 漏出物が河川等へ流出しないよう、注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- ・火気、静電気、衝撃火花など着火源の生じないよう注意する。
 - ・吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、換気の良い場所で作業をする。
 - ・できるだけ密閉された設備、機器又は局所排気装置を使用する。
 - ・漏洩を防止する。
- 保管
- ・直射日光を避け、冷暗所に保管。

8. 暴露防止及び保護措置

化学名	管理濃度	許容濃度(日本産業衛生学会)	許容濃度ACGIH(TWA)
樹脂			
パラフィン			300ppm
二酸化チタン		4mg/m ³	10mg/m ³
二酸化ケイ素	未設定	8mg/m ³	10mg/m ³
添加剤	未設定	未設定	
p-t-オクチルフェノール			
紫外線吸収剤			
黄色染料	未設定	未設定	未設定
水酸化アルミニウム			
オレイン酸			
パラターシャリーブチルフェノール			
黄色顔料			

- 保護具 呼吸器 適切な呼吸器用保護具を着用する。
手 保護手袋を着用する。
眼 保護眼鏡を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	低粘性液体		
色	黄色		
臭い	炭化水素臭		
比重	0.95		
沸点	73～140℃(主溶剤)	凝固点	-70℃以下(主溶剤)
引火点	-12℃(密閉式)(主溶剤)		
発火点	200℃<(主溶剤)		
爆発特性 上限	8.4vol%		
爆発特性 下限	1.1vol%		
蒸気圧	データなし		
蒸気密度	1.0以上		
溶解性	水に対し殆ど不溶		

10. 安全性及び反応性

安定性	熱、光に対し安定。
避けるべき条件	過酸化物、強酸化剤

11. 有害性情報

急性毒性

化学名	急性毒性経口	急性毒性経皮	急性毒性吸入/蒸気
樹脂			
パラフィン			
二酸化チタン	10000mg/kg		
二酸化ケイ素	5000mg/kg		
添加剤	32700mg/kg		
p-t-オクチルフェノール	4600mg/kg	1800mg/kg	分類できず

化学名	皮膚刺激性	眼刺激性	感作性
樹脂			
パラフィン			
二酸化チタン			
二酸化ケイ素			
添加剤	軽度(ウサギ)	なし	軽度
p-t-オクチルフェノール	軽度	区分2A	

化学名	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性
樹脂			
パラフィン			
二酸化チタン			
二酸化ケイ素			
添加剤	Ames陰性	未分類	知見なし
p-t-オクチルフェノール			可能性あり

12. 環境影響情報

残留性・分解性	難分解性(主溶剤)。
生態蓄積性	低蓄積性(主溶剤)。
生態毒性	魚、ミジンコ、藻類ともLC50>1ppm(主溶剤)。
土壌中の移動性	
他の有害影響	

13. 廃棄上の注意

都道府県の許可を受けた産業廃棄物処理業社に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

運搬に際しては、容器に漏れのないことを確認し横転、落下、損傷のないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、引火性の強い・有害性液体に関する一般的な注意事項による。

陸上:	消防法、毒物及び劇物取締法
海上:	船舶安全法、港則法
航空:	航空法
国連分類	クラス3/II
国連番号	1993その他の引火性液体

15. 適用法令

消防法:	危険物第4類第1石油類
安衛法:	通知対象物質含有
船舶安全法:	危規則 引火性液体(クラス3)
海洋汚染防止法:	ブテンオリゴマー、X類物質

16. その他の情報

本資料の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、記載内容は新しい知見により改訂されることがあります。

また、特殊な取扱いの場合には、用途、用法に応じた安全対策の上ご使用下さい。
なお、本資料の記載内容は、情報提供であって補償するものではありません。